

トミー協働 つうしん



第9号

発行:南房総市 富山協働推進室 (TEL 0470-57-3799)
 企画編集:地域づくり支援員富山担当 (FAX 0470-57-3002)
 〒299-2292 南房総市久枝257番地(南房総市富山支所内)
 メールアドレス:tomiyamachiikidukuri@sunny.ocn.ne.jp

そば打ちを勉強して、地域の人たちとそば粉コミュニケーションを!

～富山地域づくり協議会準備委員会第2回料理勉強会を開催～



自分たちで打ったそばに、舌鼓を打つ会員

富山地域づくり協議会準備委員会(前田正昭委員長)では、料理を通じて地域の人のコミュニケーションを行ない地域づくりに役立てようと、三月十八日に富山公民館で第二回料理勉強会を開催しました。今回は富楽里とみやま体験交流事業部で行なっているそば打ち体験で、そば粉が八割、中力粉が二割の本格的なそば打ちに、会員十五名が挑戦しました。そば打ちの指導は、同事業部生活ふるさと塾の皆さんで、初心者でもわかりやすく丁寧に教えていただきました。ここで覚えたそば打ちの楽しさを、それぞれの地域の方たちに伝えていき、一緒にそば粉コミュニケーションをとって、地域の輪を広げていくことも地域づくりの一つと考えます。

※そば打ち体験希望の方は、富楽里とみやままでお問い合わせください。

私の考える地域づくり



合戸在住 中野幸雄さん

自分の家の中や庭や畑はみんなキレにしようと思います。それが海岸から山の奥まで町全体に広がったらどうでしょう。自分も気分が良いし、外から来る人が一歩この町に入ってきた途端「ワッ、公園みたいだ」と驚いてくれる筈です。大人も子供もみんなが、自分がしてほしいことを相手にしてあげる。「おもてなし」の心で、一つの方角へと力を合わせて動き出せば必ずや、自分たちも住み易く、又訪れる人々も「また来たい」、「いずれは住みたい」と考えるに違いありません。地域づくり協議会が、会員が、六千人の地域住民すべてが、このおもいでがんばりましょう。

地域の話

久枝の浜に 浜屋顔が咲き始めました

久枝海岸では今、浜屋顔の花が咲き始め、これから五月にかけて、薄紫の淡い花で浜辺を彩ります。でも、浜屋顔は以前と比べて本当に少なくなりました。浜屋顔は久枝海岸の宝です。自然を大切にすることも「地域づくり」の一つです。皆さんで地域の宝を大切に保存したいですね。



以前と比べ、めっきり少なくなりました。可憐な花を咲かせています。

1つ存じますが、こんな活動

富山地区内では、産業・環境・福祉・ボランティア・公民館活動にいろいろな団体が、それぞれの目的をもっていろいろな活動を行っています。今月は、市部ボランティアチームをご紹介します。



市部ボランティアチーム(山田和矩会長)会員数二十八名 平成二十年五月に発足し、地域内の神社や小学校通学路の草刈り、平家ポタルの幼虫の放流、一人住まいの高齢者世帯への訪問などの活動を行なってきました。

現在は、会員(整備した観音山での)から提案された市部ボランティアチーム(観音山整備を、共同所有者の会の役員と協議して実施しています。)

観音山の小高い丘は、昭和三十年代までは、桜の名所として地元の人や岩井小学校児童の遠足場として親しまれてきました。これを復活させようと、樹木の伐採や草刈り、草花の植栽などに会員一同汗を流しています。

わがふるさと富山⑨

三月十一日、未曾有の多くの死傷者と被害をもたらした東日本大地震から約一ヶ月半。地震に伴う福島第一原発の事故で電力不足が見込まれて、しばらくの間計画停電が続きました。初めての経験だったと思います。

この房総半島も、三百年前の元禄十六年十一月二十三日(旧暦)にマグネチユード八・二の大きな地震に見舞われました。震源地は野島崎と推定され、高崎では地震や押し寄せた津波により三十五名の死者が出て、そのうち二十七名が溺死しています。「高崎浦津波記録」(永井正治家文書)には、「地震でも倒れない建物の建て方や地震イコール津波の考えから、高台に避難するように…」など地震の状況に加え、将来への教訓が記されています。



高崎漁港に設置してある元禄地震の津波の標柱。高さ約一メートル。予想されます。

読者の投稿コーナー

熱中!

ただいま、熱中しています。
 市部在住 川田久代さん(68歳)
 次回は、吉沢博さんにリレー

六年前の退職を機会にステンドグラス教室に通ってから、すっかりその魅力にはまっています。最初は小さな花などでしたが、今では一メートル四方以上の大きなものを製作しています。図案を起してから完成まで、七ヶ月余りかかるものもあります。今、挑戦しているものはゲームを使っての本格的なもので、ローマの教会にかけてある「聖カタリナ」のステンドグラスです。

東京江東区の門前仲町にある絵付け研究所まで、週に一度通って、ガラス専用の絵の具を使っての絵付けを習得しています。



工房で製作に熱中の川田さん

我が家の自慢のペット、イングリッシュスピリングースパニエル犬のロッキーを紹介
 平久里中在住 吉田勲さん



(お気に入りのパーカーを着て母親と一緒にパチリ)

家のロッキーは、今から十四年前、鋸南町の知人の方からいただいた。イングリッシュスピリングースパニエル犬と長い名前の犬です。雨の日にはレインコート、寒い日にはダウンジャケットを着せて、毎日近くのお店と一緒に散歩に行きます。

ロッキーは、野菜が大好きで、キャベツを茹でてドックフードにまぜて食べさせます。夜には、私の布団に入ってきて毎日寝ています。

伏姫と八房のたわ言

計画停電もしばらくなく、自粛モードも少し緩み、余震に注意しながら少しずつ、いつもの生活に戻ってきています。しかし、いつとき大きな地震が起きて、被災するかわかりません。今回は、避難するための準備を考えたい方が多かったでしょう。いざという時に、大きなリュック等に衣類や靴・水・非常食などを入れて、家の玄関等に置いておくと、少し安心します。

地域づくり支援員

細く均等に切るには経験が必要です



生地は直径40cmくらいの円にして、厚さを均等に延ばす

区長・各種団体長の出席をいただき地元報告会を開催

～富山地域づくり協議会準備委員会～

「ふらっと」の具体的な活動

■市部バイパスを彼岸花でいっぱいにして!

来訪者を花で迎え入れるため、平成22年度に開通した市部バイパス沿線に、彼岸花を植栽する
なお、植栽を広くPRし、地域住民はもとより来訪者を巻き込み、協議会の周知にも役立てる

第1部会「やんべさ」の活動

彼岸花の植栽を活動
予定の市部バイパス



■「とみやま」の良いところを見つけよう!

富山に住んでいても、まだ、知らない地域の良いところがある
先ずは、いわい案内人の会の協力のもと地域を歩いてみる

第2部会「おらが庭」の活動

■親水公園を憩いの場にしよう!

親水公園周辺は、犬の散歩や子供たちの遊び場など、水と親しむとともに地域の憩いの場になっている
現在、草刈り等の管理が行き届いていない親水公園周辺の美化活動を行なう

美化活動
岩井川
水公園



第3部会「輪と和」の活動

親子のふれあいをテーマ
にイベント活動
吉井農村公園



■吉井農村公園で親子のふれあいを楽しもう!

吉井農村公園を会場に、ホタル狩り、竹灯づくり、バーベキューなど親子のふれあいをテーマにイベントを行なう

■市部バイパスに親子で記念の桜を植えよう!

市部バイパス沿線に、記念の桜の植樹を行なう

■親子で水仙ロードを歩こう!

勝善寺をスタート
二部の水仙ロードを歩く

第4部会「あんしん」の活動

■自主防災講座を学ぼう!

講義だけでなく、非常食の炊きだしなど、実際に自ら体験することで、防災意識を高めよう

■避難訓練をやってみよう!

行政区、消防団等と連携して、避難訓練を実施し、自主防災組織を育てよう

「備えあれば憂いなし」
避難訓練の活動を予定



具体的な活動内容を熱く説明する各部会長の話に、真剣に耳を傾ける参加者

富山地域づくり協議会準備委員会(前田正昭委員長)の地元報告会を、四月十六日(土)、地元区長会や各種団体長・市内学校長・市職員などの出席をいただき、会員を含めて約六十人が参加して、富山公民館で開催しました。
初めに、これまでの考える会及び準備会の経過と今後の予定や協議会の目標・組織などの説明を行ないました。その後、中目標別に四つに分かれた各部会によって、それぞれの活動の説明をパワーポイントを使い、わかりやすく行ないました。

地域づくり協議会組織イメージ

